

広報

わかた

Public Relations Worksheet



4

2010
No. 60

第5回若狭町少年剣道大会 (三方体育館)

梅の里保

3月8日、梅の里保育園が移転新築され、開園しました。旧園舎の約200m南側の社会福祉施設「五湖の郷」隣に移ったもの。

この日のオープニングセレモニーでは開園を告げるテープカットが行われた後、園児や保護者、地域の関係者ら約100人が風船を飛ばし、続いて園児が園の歌を合唱して開園を祝いました。

旧園舎は、約30年前に建てられ老朽化が進んでいたため、社会福祉法人西田福祉会が町と県の補助を受けて、このほど新園舎を建設。

昨年4月からこれまで、西田福祉会は町から旧保育園施設の移管を受け、梅の里保育園の運営を担ってきました。今回の新園舎建設で、町内では初めての民設民営型の保育園が誕生しました。

うめのさとほいくえんのうた

うめうめうめうめ うめのさと
きょうち ともだち げんきかな
にこにこにこにこ えがいて おはようせん
うみへいころ.....
やまへいころ.....
かわへいころ.....てきつなき
あさかなせんち うめのきち
あさるせんち わらってる
うめうめうめうめ うめのさと ほいくえん

(保護者が詩を書き、職員が曲をつけました)
(歌の2番は省略します)

育園

新園舎竣工

- 町内初の民設民営 -



●問い合わせ 福祉課 TEL 0770-62-2703



梅の里保育園

DATA

- 所在地：若狭町田井 24 号 2 番地 2
- 建設主体：社会福祉法人西田福祉会
- 運営主体：同上
- 規模：敷地面積 3,860 m²
建築面積 530 m²
- 建物構造：木造平屋建て
- 定員：45 名
- 総事業費：1 億 5,062 万円
(町補助金 5,415 万円)
(国・県補助金 5,576 万円)

梅の里保育園は 0 歳児の受け入れが可能となるよう乳児専用のベッドを備えた乳児室や、「ミルク作り」と「容器消毒」ができる調乳室が整備されています。

三方地域では初めて 0 歳児を預かる体制が整い、共働き世帯の子育て支援を行います。上中地域では、ののほな保育園が 0 歳児保育に対応しています。

また、未就園の乳幼児期の親子の相談に応じる「子育て支援センター」を設け、地域の子育て支援を充実していきます。





梅の里保育園をなぜ、民設民営に？

町立保育所であった「梅の里保育所」を、民設民営方式で移転新築した訳は2つありました。

1つは、国の三位一体の改革の中で、平成16年度以降公立保育所の建設費補助金が廃止されたため、民間保育所建設の国庫補助制度を活用しなければ保育所の建設は財政的に困難な状況にありました。

もう1つは、公立では対応が難しい保育サービスの充実を図ることにより、児童数の確保に努められることでした。

このため、長年、保育所の移転新築実現に取り組んでこられた西田地区の方々のご理解を得て、平成21年3月、保育所民営化の受け皿となる『社会福祉法人西田福祉会』が法人認可を受け、同年4月から「梅の里保育所」の運営を町より移管され運営にあたりました。

この民営化によって、保育所建設国庫補助金を受けることが可能となり、今回の新築実現に至りました。

西田福祉会では、利用者の要望にこたえ4月から、「0歳児保育」や「長時間保育」を実施するほか、未就園児を対象とした「子育て支援センター（にこにこひろば）」を開設するなど多様な保育サービスを提供することとしています。

この他、隣接する「梅の里小学校」や「五湖の郷」との交流を進め、地域に根ざした保育に取り組むことになっています。



保育園と保育所、「園」と「所」のちがいは？

施設の内容の違いはありません。

国の機関・厚生労働省では、家庭での保育に欠ける幼児を預かり、育む施設のことを「保育所」と定義しています。

最近では、幼稚園という名称の影響もあり、「所」とするより「園」とする保育施設が増えてきているようです。



社会福祉法人
西田福祉会
理事長 深川 昇

西田地域の長年の願望であり、地域の大きな支援をいただき進めてまいりました「梅の里保育園」が若狭町で初めての民営保育園として新築開園いたしました。

生涯にわたる人間形成の基礎を培う極めて大切な時期にある乳幼児を保育するにあたり、家庭や地域社会と綿密な連携を図り保護者の皆様方のご協力のもと、家庭教育の補完を行い、お子さんが健康で安全に心おだやかな生活が送れるよう努めてまいります。

また、在宅の乳幼児期親子の相談に応じ、助言する「子育て支援センター（にこにこひろば）」を設け、地域の子育て支援を充実していきます。

さらに、隣接する「梅の里小学校」や地域福祉推進拠点施設「五湖の郷」と世代間の交流を深めながら、広く地域の皆様の期待にそえるよう努力してまいります。



保育所（園）で、公立と私立（民間）のちがいは？

学校や幼稚園と異なり保育所の場合は公立、私立に違いはありません。

入所の申込と決定は国の基準に基づいて町が行います。保育料も町の徴収基準額により町で決定し、町へ納付します。

そのため、私立だからといって保育料が高くなることはありません。保育士の配置についても国で最低基準が定められているので、園児の年齢などによって配置職員数が決定されます。

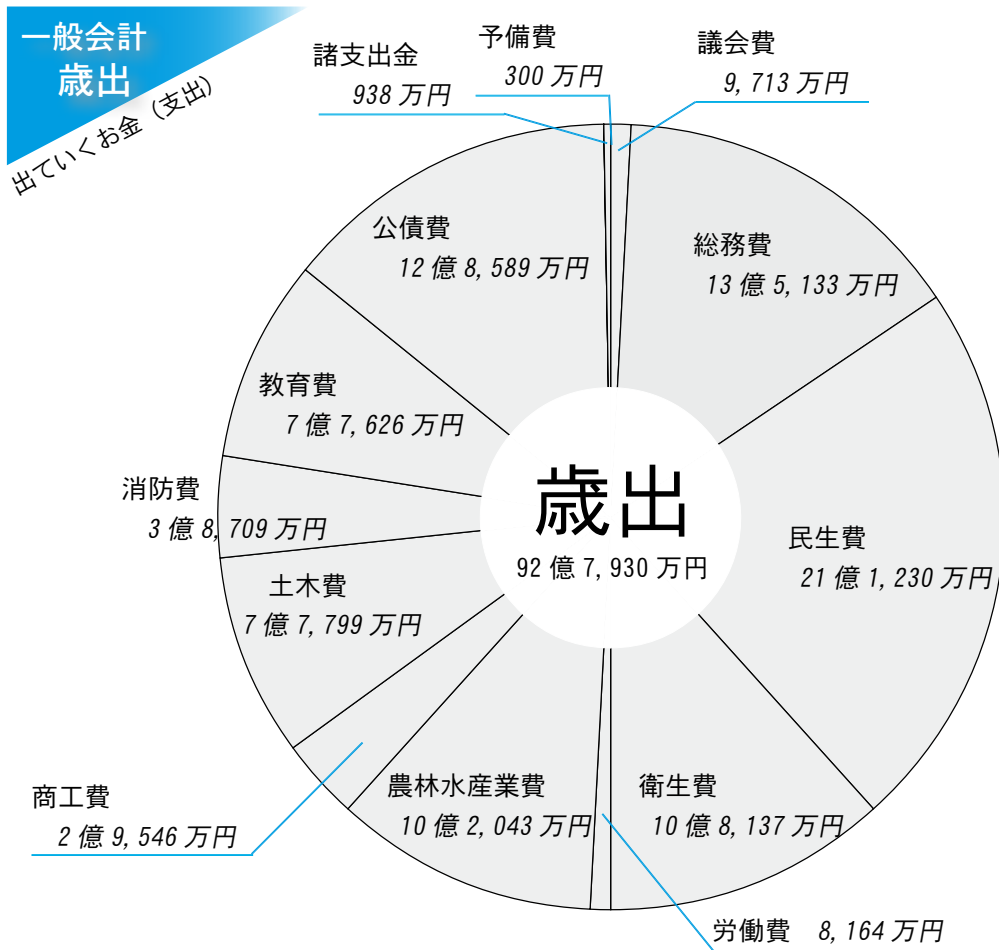
最も異なる点は、公立には国の建設補助金や運営補助金がないことに対し、私立にはそれらの補助金があることです。

なお、保育方針は保育所運営を行う法人が決めることになっています。

住民目線で 協働のまちづくり



一般会計 92億
合併以来最少の



町の会計Ⅱ一般会計のほか、介護保険や下水道など12の特別会計に加え、水道や病院など3つの企業会計がある。

歳出 集落自治活動、子育て支援に重点

総務費では、町の将来像を描く「後期総合計画」の策定や身近な生活環境を改善する集落自主活動への支援を盛り込みました。

民生費には、国の子育て支援制度「子ども手当」を新たに計上するとともに町の医療費無料化事業を「小学校卒業」から「中学校卒業」に引き上げ、子育て世代の経済的負担軽減を図ります。

農林水産業費では、農道や用排水路整備をはじめ、懸案事項となっている鳥獣害防止対策をさらに進めていきます。

商工費では、企業誘致や既存事業所の規模拡大に対する奨励措置を講じます。

土木費では、末野～新道間の町道10号線整備や集落内の狭い道路の拡幅を図っていきます。



92億7,930万円 の緊縮型予算

平成22年度の若狭町の当初予算を町議会に提案しました。

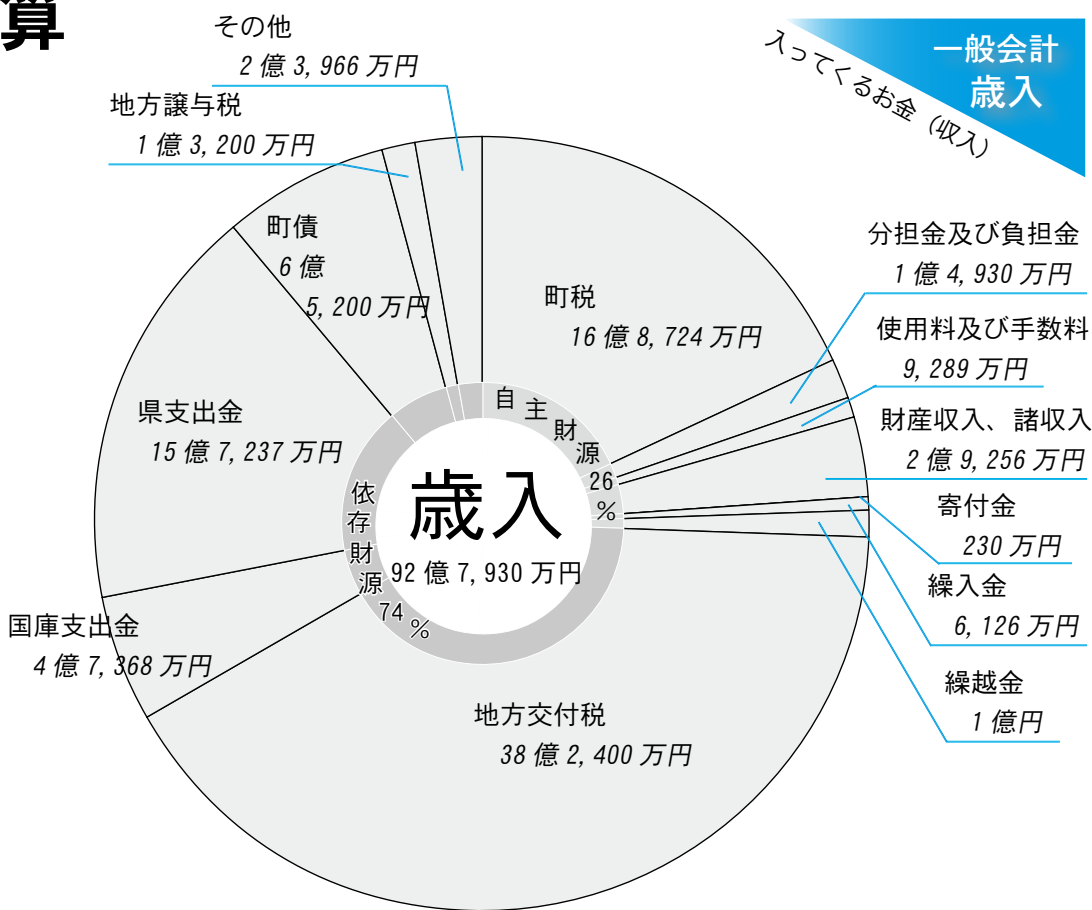
一般会計予算は92億7,930万円です。若狭町誕生以来、最小で、緊縮型の予算となっています。

合併以来進めてきた、大型ハード事業や学校耐震化事業が一段落したうえ、景気の低迷による税収

の減少によって既存の事業を再度見直し、限られた財源の中で予算編成を行った結果、合併以来最も少ない額となりました。

今後も、限られた財源の中で住民の皆さんとともに知恵と力を出し合い「協働のまちづくり」を進めていきます。

一般会計は道路や学校、ゴミ処理、農林漁業の振興、町職員人件費など町の行政運営の基本的経費を計上したものです。



歳入 税収大幅減、交付金頼り

景気低迷の影響から町民税、固定資産税などの減収により、町税は前年度に比べ10.9%減の16億8,700万円余りを見込みました。

一方、国から税収の少ない町などに配分される地方交付税交付金と臨時財政対策債（普通交付税の不足を補填する借入金）を併せて、前年度に比べ4億8,500万円の増額を見込みました。

また、町の貯金である財政調整基金と減債基金を合併以来初めて取り崩すことなく、予算編成を行い、健全財政の維持に努めました。

なお、有害鳥獣処理・加工施設等に充当する核燃料税交付金と企業振興等に充当する日本原電敦賀3、4号機増設に伴う電源立地地域対策交付金を併せて6億5,800万円を計上しています。

平成 22 年度当初予算

平成 22 年度の当初予算に盛り込まれた主な事業を主要施策別に示し、予算がどのように使われるか紹介します。

1. まちづくり

町長との直接対話「ゆうトーク」や昨年 9 月に実施した抽出アンケート「住民意識調査」での意見・要望、さらに現在各集落に作成していただいている「集落計画」の内容を組み入れ、若狭町の将来像を描く「後期総合計画」を策定します。

また、集落や団体の自主的な活動に対して支援する「地域しあわせ応援モデル事業」や集落内の身近な生活環境の改善活動に原材料を支給する「みんなでつくる原材料支給事業」を新設し、集落自治活動の向上や協働のまちづくりを推進していきます。



- ・後期総合計画策定事業 167 万円
- ・イメージアップ・PR 事業 136 万円
- ・協働のまちづくり推進事業 200 万円
- ・地域しあわせ応援モデル事業 100 万円
- ・みんなでつくる原材料支給事業 500 万円



2. 子育て、福祉、医療

「妊婦健診の無料化」や「3 人目保育料無料化」、「出産祝い金の拡充」など、子育て世代の経済的負担軽減策を継続実施するとともに、安心して産み育てられる環境をより充実するため、従来「小学校卒業まで」としていた医療費無料化の対象を「中学校卒業まで」に引き上げます。

また、高齢化が進む中、健康で生きがいを持ち、家庭や地域でその持てる力を十分に発揮していただくため、高齢者の社会参加を支援していきます。

障がい者の自立支援の観点から地域生活移行や就労支援といった課題への柔軟なサービス提供を行います。

上中病院では、病院運営の経験者を迎え、病院の体制や経営、今後のあり方などに助言や指導をうけることとしています。

休診中の三方診療所については、来年 4 月の再開をめざし、医師招へい活動を行います。

- ・子ども手当事業 2 億 6,116 万円
- ・子ども医療費事業 5,497 万円
- ・妊婦健康診査事業 1,158 万円
- ・不妊治療費助成事業 150 万円
- ・出産祝い金支給事業 1,015 万円



3. 環境、観光

「環境基本計画」に沿って具体的な活動に取り組むため、先ごろ設立された「若狭町環境パートナーシップ会議」を中心に団体や組織・事業所などと協働して自然環境と共生する施策を展開します。

バイオマス利活用、家庭ごみの減量化など、環境保全・再生への取り組みを一歩ずつ進めていきます。

観光入り込み客数は依然厳しい状況で推移していますが、エコグリーンツーリズム計画に基づく「農家民泊」、かみなか農楽舎を中心とした「農業体験」、常神半島での「漁業体験」、外国人の誘客を積極的に進め、交流人口の増加を図ります。

また、国道162号奈胡崎トンネル（小浜市）の開通で小浜方面との交通量が増えている別庄地区に観光客の利便を図るため、公衆トイレを整備します。さらに、舞鶴若狭自動車道無料化の際には、若狭町へ誘客する若狭三方五湖観光協会の事業に対し補助を行います。



台湾からの観光客

- ・環境まちづくり推進事業 147万円
- ・環境再生啓発事業 270万円
- ・環境保全対策事業 584万円
- ・観光環境整備事業 1,910万円
- ・舞若道無料化誘客補助事業 130万円

※「瓜割名水まつり」と「若狭縄文まつり」については、先ごろ行った抽出住民意識調査の結果を踏まえ、イベント検討委員会でのあり方を検討しています。



獣害防止柵

- ・担い手条件整備事業 2,389万円
- ・農地・水・環境保全向上対策事業 1,781万円
- ・有害鳥獣処理・加工施設整備 1億1,024万円
- ・鳥獣被害防止総合対策事業 1億2,700万円
- ・村づくり交付金事業 8,938万円
- ・流域森林総合整備事業 3,029万円
- ・淡水魚放流、外来魚対策事業 102万円

4. 農林漁業

担い手の確保・育成、農地の集積・有効利用など、農業を継続できる環境を整備し、地域農業を担う意欲と能力のある経営体の育成を図っていきます。

また、梅や野菜など農産物の生産・加工・流通の一体化による販売価格の向上、直売所や観光事業と連携した農産物の販売によって売れる農業・もうかる農業を推進します。

有害鳥獣対策では、引き続き猟友会や有害鳥獣捕獲隊の協力による捕獲駆除と金網柵などによる侵入防止対策を進め、有害鳥獣被害防止を強化していきます。

さらに、来年秋の完成を目指し、海士坂にイノシシ・シカなどの処理と地域資源として利活用する加工施設の整備に取り組んでいきます。

平成 22 年度当初予算

5. 交通、道路

関西圏と若狭を結ぶ快速鉄道整備については、現在の経済情勢の中、進展は厳しいものがありますが、引き続き粘り強く推進していきます。

また、舞鶴若狭自動車道の三方湖畔に計画されている三方パーキングエリアに、国道162号などへ連結するスマートインターチェンジの設置に向けた検討を進めていきます。

町道整備については、末野と新道を結ぶ町道10号線の仕上げに取りかかるとともに集落内の狭い道路を拡幅する「狭あい道路整備」に取り組めます。

また、常神～三方間の町営バスや上中地域のサロンバス、三方地域の福祉バスを引き続き運行し、交通弱者の移手段を確保します。



狭あい道路整備

- ・公共交通推進事業 5,318万円
- ・特定交通安全施設等整備事業 5,662万円
- ・道整備交付金事業 3,031万円
- ・まちづくり交付金事業 8,252万円
- ・狭あい道路整備等促進事業 2,000万円



学校訪問コンサート

- ・鳥羽小学校ランチルーム棟改修事業 2,000万円
- ・放課後子ども教室推進事業 123万円
- ・放課後児童健全育成事業 1,445万円
- ・熊川重伝建保存修理修景事業 2,509万円
- ・ユリ遺跡出土3号丸木舟保存処理事業 335万円



6. 教育、文化

学校施設の安全確保を最優先に耐震工事を進めてきたことで、耐震性の劣るDランクやEランクの耐震化工事は平成21年度と22年度の鳥羽小学校の改修をもって完了します。

核家族化が進み共働き世帯が増加傾向にある中、「放課後子ども教室」や「放課後児童健全育成事業」などの活用で子どもたちがいきいきと交流し活動できる場づくりを一層充実していきます。

また、縄文時代の文化遺産・鳥浜ユリ遺跡で発見された3号丸木舟の保存処理に取りかかり、2年後には縄文博物館で展示することとします。

さらに、小浜市と連携して取り組んでいる「文化財総合把握モデル事業」を十分に活かし古墳文化の情報発信へと結び付けていきます。

パレア若狭では、引き続き文化や芸術に親しむ機会を創っていくとともに、子どもたちが優れた音楽や芸術を身近に感じてもらうため学校にアーティストを派遣する出前コンサートなどにも積極的に取り組めます。

7. 商工業

昨年制定した「企業振興条例」により、企業の誘致や既存事業所の規模拡大を支援する奨励措置を講じていきます。

若狭中核工業団地の工業用水道事業では、今後の増産体制や企業の進出に備え、供給日量 2000 トンから 2600 トンに増量する工事に着手します。



- ・企業振興基金積立 1 億円
- ・工業用水増量工事 3 億 4 万円
- ・ふるさと雇用再生事業 3,829 万円
- ・緊急雇用創出事業 1,470 万円

特別会計

特定の事業について独立した予算で行う会計

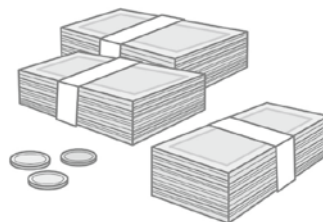
特別会計	当初予算額
国民健康保険特別会計	16 億 7,545 万円
老人保健特別会計	14 万円
後期高齢者医療特別会計	1 億 7,240 万円
直営診療所特別会計	966 万円
介護保険特別会計	14 億 5,374 万円
簡易水道事業特別会計	1 億 1,989 万円
農業者労働災害共済事業特別会計	273 万円
農業集落排水処理事業特別会計	3 億 9,511 万円
漁業集落排水処理事業特別会計	3,654 万円
公共下水道事業特別会計	5 億 5,887 万円
町営住宅等特別会計	1 億 4,770 万円
土地開発事業特別会計	3,345 万円
合計	46 億 573 万円

企業会計

地方公営企業会計の適用を受けるもので特定の事業について独立採算制をとっている会計

企業会計	当初予算額
水道事業会計	1 億 9,925 万円
工業用水道事業会計	3 億 4,255 万円
上中病院事業会計	8 億 695 万円
合計	13 億 4,875 万円

※企業会計では、収入予算額と支出予算額が異なるため、収益的支出と資本的支出の合計額を当初予算額として表記しています



一般会計をはじめとするそれぞれの会計予算は千円単位で編成していますが、広報紙では一般的になじみのある万円単位で表記しています。そのため合計が一致しない場合があります。

なお、これらの予算額と内容は 3 月 4 日現在で町が町議会へ提案したものです。したがって、議会の議決により内容や額が修正される場合があります。

まちの話題

WAKASA TOWN NEWS



▲駆除方法などを説明する中井さん(右)

わかめ・・・大収穫！

わかめ刈り取り体験 (2/22)

三方小4年生、三宅小5年生、梅の里小3年生が遊子沖の海上でわかめの刈り取りを体験しました。

わかめは昨年11月に児童たちが専用のロープに芽付けしたものです。児童たちは、漁船に乗り込みロープを船上に引き上げると、大きく育ったわかめを鎌で刈り取りました。

児童たちは、約2cmだった芽が3ヶ月で1m以上に成長したことに驚きながら、海の恵みを感じていました。体験事業に協力している濱本一夫さん(遊子)は、「海をきれいに保つことが海の恵みにつながることを知ってほしい」と話していました。

外来種から漁場を守ろう！

外来魚会議 in 三方五湖 (2/20)

三方五湖などで外来魚が増えている現状やその対策を考える「外来魚会議」が海山の観光ホテル水月花で開催されました。

会議には約70人が参加。まず、県内水面総合センターの職員や地元漁協関係者が外来魚の生息状況や駆除対策について説明し、「継続することが何より大切」と話しました。次に、琵琶湖博物館の中井克樹主任学芸員が効果的な駆除の方法などを紹介しました。

外来魚は在来の魚の卵や稚魚などを食べ、強い繁殖力で生態系に大きな影響を与えており、今後の有効な対策が急がれています。



 ホームページに動画

▲わかめの刈り取りを体験する児童

4月から安全に登校！

保育園児年長組交通安全教室 (2/23)

4月からの小学校入学を前に、登下校時などの交通ルールを学ぶ交通安全教室がわかば保育園で行われました。この日参加したのは年長組の園児23人。

交通ルールを学ぶアニメビデオを見たあと、保育園前の道路に出て、小浜警察署の交通巡視員から歩道の歩き方や横断歩道の渡り方、道路で注意する点などの指導を受けました。

園児たちは、左右をよく確認して横断歩道を渡ることや道路では遊ばないことを学んでいました。

この教室は3月にかけて町内のほかの保育所でも実施されました。



▲横断歩道を渡る練習をする園児

” やさしいきもちになるうよ ”

若狭町人権意識高揚大会 (2/27)

パレア若狭で平成 21 年度若狭町人権意識高揚大会が行われました。人が人を大切にしたい、人権が尊重される家庭・学校・地域づくりを目指し、人権意識の高揚と啓発を目的に毎年開催されています。

大会では、小中学生から応募のあった人権メッセージ (16 点) が表彰されたあと、作家・落合恵子さんが「こころの居場所」と題して講演しました。

落合さんは「人権は一生かけて学んでいく課題」、「子どもが生まれてきてよかった、お年寄りが長生きしてよかったと思える社会がみんなが心地よく過ごせる社会、なぜならそれは自分が来た道で行く道だから」と人種・性・年齢の差別を解いて、健常者中心の社会を見直してほしいと語りました。



▲表彰を受ける入賞者

農業イキキ実践

第 7 回オーライ！ニッポン大賞 (3/10)

末野の農業生産法人「かみなか農楽舎」がオーライ！ニッポン大賞審査委員会長賞を受賞しました。

この賞は、オーライ！ニッポン会議 (代表・養老猛司東大名誉教授) と農林水産省が、都市と農山漁村との交流に関する優れた取り組みを表彰するもの。

全国から 100 をこえる応募があり、農楽舎は、「グランプリ」、「大賞」に続く審査委員会長賞 5 団体の一つに選ばれました。新規就農を希望する若者の研修を通じて、就農・定住を促進し、集落を活性化する取り組みが評価されての受賞。

一昨年の若狭三方五湖観光協会の同賞「大賞」受賞に続く快挙で、町の活性化へ弾みになるとして大きな期待が寄せられています。



▲表彰を喜ぶ農楽舎のメンバー



▲熱戦を繰り広げる選手たち

ぶつかりあう気迫！

第 5 回若狭町少年剣道大会 (3/14)

町や町剣道連盟が主催して、若狭町少年剣道大会が三方体育館で行われました。選手たちは、日頃の練習の成果を竹刀に込めて、気合の入った技を繰り出していました。

《試合結果》(①優勝、②次勝、③3位)

- ◎団体戦◇男子の部①きらやま A、②向笠、③気山 A、西部◇女子の部①きらやま A、②剣誠館 A、③西部 A、西部 B
- ◎個人戦◇6年男子①中村匡佑、②久保田祐介、③中西雅也、坊 海斗◇6年女子①久保茜、②田辺紗梨奈、③井上瑞菜、大南恵◇5年男子①中西諒、②石蔵将崇、③瀬尾成一、入江拓実◇5年女子①西村真由、②二本松咲季、③鈴木里香子、今井未来◇4年男子①安藤舜祐、②清水勇介、③岩崎日富、井口翔太◇4年女子①川島奈緒、②新田亜優、③橋本はなえ、◇3年以下男女混合①池田二千花、②中西優佳、③田辺有羽、田中大輔